

## 第3回 深川市庁舎整備検討会議 会議録

◎日 時 令和元年8月28日(水) 18:00~19:56

◎場 所 深川市役所 大会議室

◎出席者 委員15名、深川市(事務局)9名、傍聴0名、報道機関1社

◎会議内容

1. 開会 司会：総務課長

2. 委員長あいさつ

- ・雨の中の参集にお礼申し上げる。本日の議題にあるとおり、市民アンケートの調査結果が出た。この会議の結果を市民も大変気にしており、期待していると見受けられる。大変大事な会議であるので、皆さまから意見をいただき、庁舎整備の検討を進めたい。

3. 報告事項 議長：委員長

(1) 経過報告及び(2) 第2回検討会議の内容等について

【委員長】

- ・報告事項の(1)経過報告及び(2)第2回検討会議の内容等について、事務局から説明を願う。

【事務局】

- ・第2回以降としては、議会の特別委員会が本日午前中に開催され、本会議と同内容の資料をお示しし議論いただいた。また、議会特別委員会も、本日午後から北広島市役所を視察した。
- ・第2回検討会議の内容等について、皆様からの発言要旨を、資料1のとおりまとめ配布する。

(3) 先進地視察の結果について

【委員長】

- ・先進地視察の結果について、事務局から説明を願う。

【事務局】

- ・前回の会議に併せ7月24日に北広島市役所を視察した。
- ・北広島市は、人口は約58,000人の都市で、新庁舎の延床面積は当市庁舎の倍の約10,800㎡。鉄骨造り5階建て、総事業費は約60億円となっており、平成29年度に供用開始された。
- ・1階に、保健センターや子育て支援センターを併設した複合庁舎であり、2階がメインの出入り口で、総合案内を設置しているほか、各種窓口が集約されていた。
- ・また、2階には広い待合スペースが設けられ、キッズコーナーや情報コーナーも設けられていた他、相談室なども適宜配置されていた。
- ・執務室は3・4階で、オープンフロアで見通しをよくするなど、効率的で使いやすい構造となっていた。また、理事者の部屋近くに災害対策本部の会議室なども設けられていた。
- ・5階は、市民の利用スペースとして、市内を見渡せる展望ロビーやカフェが設置されていた。
- ・同じく5階に市議会の関連諸室が配置され、傍聴席入口にスロープを設けるなどバリアフリー対応がなされていた。なお、議場は議会専用だが、委員会室は多目的利用が可能であった。
- ・また、多目的トイレが各階に設けられているほか、吹き抜けで明るく開放的な造りとなっていた。
- ・この他、質問への回答書やパンフレット等を添付したので、後程お目通しいただきたい。

## 4. 議事

### (1) 市民アンケート調査の結果について

#### 【委員長】

- ・ 議事の(1)市民アンケート調査の結果について、事務局から説明を願う。

#### 【事務局】

- ・ 住民基本台帳から18歳以上の男女1,000人の市民を抽出し、7月10日から7月31日まで調査を実施した。有効回答者数は434人、回答率は43.49%となった。
- ・ 回答者数の性別は、「男性」が194人(44.7%)、「女性」は238人(54.8%)、「無回答など」が2人(0.5%)となった。年齢層の割合は、60歳以上が全体の6割以上を占めている。
- ・ 市役所の利用状況の来庁の有無では、来庁したことが「ある」が8割以上となった。
- ・ 来庁目的では、「戸籍・住民票等」の25.9%が最も多く、交通手段では、「自家用車」が約8割となった。不満・不便な点では、「階段や段差が多く、高齢者・障がい者等への配慮が足りない」が16.6%と最も多かった。
- ・ 庁舎整備について、市庁舎に重要視することでは、「災害時に市民の救援を迅速に行える防災拠点」が25.6%と最も多かった。庁舎を整備する場合に加えたい機能としては、「手続きをまとめて行える窓口」が12.3%と最も多かった。
- ・ 庁舎整備の考え方では、①建替える場合の場所が「費用負担を極力抑えるために、現在地も含めて、所有している適当な市有地を活用する」が69.4%と最も多かった。②耐震改修工事をする場合の内容では、「耐震改修工事に加え、エレベーターの設置や老朽化している設備等を改修」が66.4%と最も多かった。①と②の回答数を比較すると、①の回答数合計は416人(95.9%)、②の回答数合計は368人(84.8%)となった。
- ・ 自由意見については136件の意見があり、庁舎整備の賛否に関する意見として、賛成と識別できる意見が109件、反対の意見が11件、その他が16件、また、賛成と識別できる意見のうち、整備手法で建替えが良いとする意見が91件、耐震改修が良いとする意見が3件、どちらか識別できない意見が15件あった。

#### 【委員長】

- ・ アンケートは市民の考えが色々な形で表たものと考え、質疑等をお受けする。

#### 【委員】

- ・ 市役所に対してもっと批判的な答えが返ってくると思っていたが、市民の皆さんは冷静に将来の事を考えていると感心した。
- ・ 建替えか耐震改修かストレートに問う質問がなく、そう読み取れると分析しており疑問を感じていたが、自由意見を見ると多くが建替えを希望しているように見えるので、市民の皆さんの大勢の考え方だと理解した。

#### 【委員】

- ・ 建替えをする場合の場所について、現在地を含めて市有地を活用するという回答が多く、これからの負担があまり掛からないような形で進めていけば良い。
- ・ 中には防災の事はあまり考えなくても良いとする意見もあった。現庁舎が建ってから50年間大きな災害がなかったのでそういう考えでも良いのではないかという印象も受けた。

【委員長】

- ・現庁舎にバリアフリー等が完備されていないという意見や、建替えてもいいが市の将来的な人口減を加味した上で考えていかなければならないという意見が結構あった。

【委員】

- ・私は建替えには賛成しており、北広島市を視察して、もっと良い物や子供のためになど色々考え希望が膨らんでいたが、自由意見で、人口が減っていくので負担が掛からないようにという意見もあり難しいとは思ったが、建替えが良いという自分と同じ考えの意見もあり安心した。

## (2) 基本計画（案）の内容

【委員長】

- ・(2)基本計画（案）について、事務局から説明を願う。

【事務局】

- ・今回お示しするものは、現時点で整理した案で、今後、協議を進める中で、内容や表現が一部変更になる可能性があることを、あらかじめご理解いただきたい。
- ・前回お示しした基本計画案の構成一覧で、「整備後庁舎」を、今回提案する内容に合わせて「新庁舎」と表現を修正したほか、「情報通信技術(ICT)機能」を新たに追加した。
- ・第1章「基本計画策定の趣旨」は、基本計画の目的及び位置付けとして、庁舎整備の方針や機能、規模などを具体的に示して、設計業務を行う際の基礎的な内容をまとめたもの。
- ・2ページの「関連計画との整合」では、本市の「総合計画」や「地域防災計画」など記載の5計画と整合性を図る計画としている。
- ・第2章の「現庁舎の現状と課題」では、5月にまとめた「庁舎整備の検討に向けた諸課題」を踏襲して内容をまとめたもの。
- ・5ページの「庁舎整備の必要性」については、各種課題の解決や、国の財政措置の期限があることから、早急に庁舎整備をすることが望ましいとまとめた。
- ・また、整備手法や耐震診断の比較、アンケート調査の結果をまとめた上で、④「整備手法の決定」では、これまでの比較検証で耐震改修より建替えの優位性が高く、アンケートでも建替えに関心が高い状況であることから、庁舎の整備手法は「建替え」を選択するとしたもの。
- ・第3章「新庁舎建設の基本的な考え」では、「新庁舎の在り方」として庁舎整備の理念をまとめ、4つの項目を基本方針として整備を進めるとしたもの。
- ・第4章では、新庁舎に導入する機能を示しているが、現時点のたたき台のため、委員の皆さんの意見をいただき、今後、内容を整理していきたい。
- ・基本方針1の、「市民に親しまれ利用しやすい庁舎」の、①窓口相談機能では、窓口を低層階に集約し来庁者の利便性が高い配置とすることや、臨時窓口スペースの確保を検討している。また、ワンフロアサービスを基本とし、状況に応じたワンストップ窓口の設置や、プライバシーに配慮した窓口の仕組み等について検討するとしたもの。
- ・(2)市民交流機能では、市民が自由に休憩や待ち合わせができ、臨時の事務や災害対応などに活用できる多目的スペースの設置を検討するものとしている。
- ・基本方針2の、「市民の安心安全を守る災害に強い庁舎」の、(3)防災拠点機能では、耐震安全性の目標値を国が定めた「官庁施設の総合耐震計画基準」の最も高い基準で設定し、構造

方式や構造種別の比較検討を行い、今後決定することとしている。

- ・また、防災拠点機能の強化を図るため、災害対策本部機能を持つ会議室を設け、避難所や災害対策用の資機材等を保管するスペースなどを確保するほか、非常用自家発電設備等を導入し、電気・機械室等は浸水の恐れがない階へ配置することとしている。
- ・基本方針3の「人と環境に優しい庁舎」では、(4)のユニバーサルデザイン・バリアフリー機能として、わかりやすい案内表示のほか、エレベーターや多目的トイレの設置を検討するものとしている。
- ・(5)省エネルギー等機能では、太陽光発電や自然採光のほか、LED照明や省エネ効果の高い冷暖房設備、高性能断熱材等の導入や地域材の活用を検討することとしている。
- ・基本方針4「効率的で安全な庁舎」の(6)執務環境では、間仕切りのないオープンフロアや効率的にスペースを活用できるユニバーサルレイアウトの導入を検討することとしている。
- ・新たに追加した(7)「情報通信技術(ICT)機能」の①「ICT対応の促進」では、執務室等での無線LAN採用や、重要機能室(サーバ室)の設置を検討するほか、(8)防犯セキュリティ対策では、立入区画の分離やICカード等による認証システムの導入などを検討することとしている。
- ・議会施設については、議会と今後協議することとしている。

#### 【委員長】

- ・基本計画の案が示された。これまでの会議、今回アンケート結果を踏まえ、建替えを前提として議論を進める。質疑をお受けする。

#### 【委員】

- ・バリアフリー、ユニバーサルデザインについては、費用をかけなくても使える物があり、全てオートドアを導入する必要はなく、V字レールの引戸など、とても便利な製品もある。色々な物を設置して広くスペースを取れば良いという考え方は大間違い。様々な形のトイレがあっても良いし、皆さんと議論しながら一緒に考えを共有して、この形だったら皆さんも使いやすいと納得できる造り方が大事。
- ・今回出てきたICT(情報通信技術機能)は、市民交流機能に当然必要になる。北広島市で見えてきたが、高校生がパソコンを使っていたり、多目的スペースで観光などの情報発信にも使える。
- ・特に若い世代のアンケート結果にもあったが、カフェとか休憩できるスペースなど、将来深川市に戻って来たい、深川市で子供を産んでずっと働きたいという仕組みを作ることが大事。まちのシンボルという回答も20歳未満から出ており、一緒に参画してまちのシンボルとなる物を造ったのだという満足感が、将来戻って来る或いは多くの人を呼び寄せるという人材確保やまちの魅力に繋がっていくと考える。

#### 【委員】

- ・庁舎を建替えるあたり不足する機能をまとめたもので、計画自体の検討方向は良いと思う。また、アンケートで市民の皆さんも、市庁舎に対する期待が多くあり、必要な設備を整えることも良い。ただし、一方では市の将来を見た時に、負担を残すことになってはならないので、建物、設備、土地も含めて身の丈にあった判断が重要。本当は全部あれば良いが、その中で必要な機能と我慢しなければいけない物を検討しながら進めれば良い。

**【委員長】**

- ・建替えるのであればコンクリートではなく木造が良いと自由意見があった。お寺や神社など古い建築物はほとんど木造で色々な形で耐震整備ができていますので、貴重な意見の1つと考える。

**【委員】**

- ・アンケートに今の庁舎の不便さというものが出ており、それを一つ一つ解決する。何でもあれば良いのではなく、何が必要なのか考えながらやらなければならないと考える。

**(3) 庁舎建設の可能性がある土地について**

**【委員長】**

- ・(3) 庁舎建設の可能性がある土地について、事務局から説明を願う。

**【事務局】**

- ・前回の会議では、「大規模な空き地等の状況」として、民有地の3カ所を含め、合計で6カ所の用地を示した。
- ・市民アンケートでは、建替えの場合は、「費用負担を抑えるため現在地も含め市有地を活用し建替えすること」の回答が多数を占めたことから、民有地のみの3カ所を本資料から除いた。
- ・市有地である、現庁舎敷地、一部民有地も含まれている生協跡地、生きがい文化センターの3カ所を、「建設の可能性がある土地」として示し、「所在」「面積」「用途地域」「所有者」などの基本条項のほか、現時点で考えられる主なメリットとデメリットについて記載した。
- ・なお、土地情報については民有地も含まれており、会議資料の取り扱いにはご注意くださいとともに、ホームページでは、その点を注意して公開するのでご理解いただきたい。

**【委員長】**

- ・土地について、ご意見をお受けする。

**【委員】**

- ・民有地がなく、健康福祉センターがすぐ横にあること、近隣に北海道の合同庁舎があり、現庁舎の敷地が良い。

**【委員】**

- ・現庁舎の北側に建てた方が良い。教育会館を含めるとかなり広いと思う。現庁舎の南側は無理だと思う。

**【委員】**

- ・費用面では現在地が一番良いが、砂川市と比較して深川市は公共施設の場所がバラバラに感じる。砂川市は市役所、病院、公民館、図書館が一角に全部あった。アンケート結果では、気軽に庁舎に来て、気軽に休める場所とある。深川市のように施設が離れていたら確実に用事がない限り市役所には来ない。街中で通院のついでに市役所に寄ってみるとか、無理かもしれないが図書館を街中に移転して、病院帰りに図書館に寄ろうとか、その考えもいいのではないかと思い、場所については揺らいでいる。

**【委員】**

- ・施設がまとまっている方が人の目に付きやすい面はある。アンケート結果で一番市民に理解が得られるものは、コストが掛からない現庁舎の敷地だと思うが、高齢化に伴って街中にある方が多目的な要素を含めた利用が可能になるとも思い、それらの妥協点が難しい。

【委員】

- ・市庁舎は深川市のランドマーク、シンボルマーク。3カ所の候補地は、住民から見るとどこをとっても公平性はあり得ない。西に建てれば東の人が不便になりその逆もある。アンケートでの市民の一番の関心事はコスト面で、これを踏まえると現庁舎敷地となり、周りに高い建物もなく良いと思う。

【委員】

- ・メリットデメリットは皆さん同じようにあるが、コスト面では現庁舎の敷地が良いと思う。

【委員】

- ・確かに、東に住む人は生きがい文化センターが遠いと言ひ、西に住む人は市役所が遠いと言ひ。アンケートを見ると、コスト面や色々なことを考えると現庁舎の敷地がベストと思う。

【委員】

- ・最初は経済性、市の財政が気になっていた。他の事を考えなければこの場所が一番良い。
- ・市役所は年に何回かしか来ない所で、行きやすいと言っても市民の方はそんなに頻りに市役所に来ておらず頻度を考える必要はないと思う。近い人がいれば遠い人も出てくるので、近い遠いは考えなくても良いと思う。
- ・仮庁舎を建てたり、電算等の設備などで一時であっても仮の整備をすると膨大な経費が掛かる。現在の敷地に建てるとすれば仮庁舎などは考えないで、現庁舎で業務を行い、完成した時に設備を集中的に整備して、二重の経費が掛からないようにする。
- ・慣れ親しんだこの場所が経済的にも早さでも一番いいと思う。

【委員】

- ・基本計画に触れていないが、防災拠点機能で重要なのは、広い遊休地が必要なこと。災害が起これば、一時避難場所となり、支援のための消防、警察、自衛隊、マスコミ等の関係車両が駐車でき、職員たちの車も駐車できるスペースが必要で、庁舎の周りにそうしたスペースを十分確保できることが大前提である。
- ・今も循環バスを市で整えてくれているが、もっと充実させることで市役所に来やすくするというのも一つの方法である。旭川医大行きのバスは病院の入口まで入っており、そういうイメージを市役所にも取り入れれば使いやすくなる。今日は大雨で車椅子の方などはどうなるか等と考え、庁舎に入ってきた。そうしたことを解決するような新しい庁舎を考えていけば他市庁舎と差別化、特徴が出せる。

【委員】

- ・現在地で建替えを希望する。図面上では、現庁舎をデアイの横に移すと収まるように見える。また、例えば、1条側の教育会館や木造の物置とかを全部解体すると、ここに職員駐車場や老朽化が激しい車両センター等の建替えができると感じる。
- ・賑わい性を持たせるため、子供たちも利用するデアイと繋がるような建て方を考えると良い。
- ・前回会議で他市の基本計画書をいただいた。基本計画が策定されたのが平成27年から30年で、深川市の取組みは遅いと感じる。配置計画は他市では3案から8案考えている。
- ・スケジュールでは、1~2月に基本計画のプロポーザルを2か月間としているが、他市の基本計画ではほとんどプロポーザルは入っていない。この2か月半は貴重な時間で、この時間を基本設計や実施設計に充てる方が良い。
- ・構造について、鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリート、鉄骨造とあるが木造という考え

方があってもいい。数日前の新聞に当麻町庁舎の記事が出ていた。深川市も以前は林業のまちだったということで極力、木を使った庁舎も考えてほしい。

- ・配置計画では地元のコンサルタントからも意見を聞けばいいと思う。
- ・現庁舎の規模では5,400㎡だが、以前、東庁舎に消防庁舎があった面積で、現在は3階から都市建設課等が移って、3階は空いている状況なので5,400㎡は実際いらぬ。コンパクトに考えていただきたい。議場についても、建設当時の議員は30名以上いたが、現在は14名でコンパクトにできる。
- ・建替え場所については、近隣の保健所、道の合同庁舎、ハローワークもあり、市との連携もあるのでなるべく現在地が良い。

**【委員長】**

- ・プロポーザルに対し事務局より説明を願う。

**【事務局】**

- ・手法としては、競争入札、プロポーザル、コンペ方式、最近ではECI方式という施工者の技術提案を受けるものもあり、今後どれがいいのか検討していく。

**【委員】**

- ・病院、JRに近い街中が良いと思っている。岩手県宮古市では、駅舎と市役所庁舎が直結して新しくなった。コンパクトな街づくりに一番大事なことは、どこをきっかけに街の中心とするかで、昔は駅が中心で、広がっていくとドーナツ化現象により、中心がうまく作れなくなる。現在ある空き家、空き地等をはじめ、深川のまちづくりについて今一度皆さんと議論しながら、魅力的な街づくりをする。時間と予算はないが、若い人たち、お年寄りの意見を聞いて議論しておいた方が良い。

**【委員】**

- ・街中で経営しているものとしては、本来なら市庁舎は街中でという思いはあるが、時間がなく、お金もないことを考えると現在地での建替えがベストな選択だと思う。
- ・庁舎にフリースペースをという話もあったが、街中にはプラザ深川があり、学生やバスを待つスペースもあるが十分な利用がされておらず、まだ皆さんに周知が行き届いていないと感じる。交通弱者にとっては循環バスも通っているわけで、それらも含めて現在地で良いと思う。

**【委員長】**

- ・事務局にお聞きするが、昔はこの辺一体は湿地帯で、地盤がキチツとなされているか。

**【事務局】**

- ・現庁舎の建設時に地盤調査を実施して検討して基礎を建てたので、当時としては問題なかった。地盤も耐力があり、建替えの際にも同じく地盤調査し耐力を考慮しながら建設するものとする。

**【委員長】**

- ・様々な意見が出されたが、本日はこれを決定せず、次回の会議でも皆さんの意見を伺い、結論を導いていきたいと考える。

#### (4) 財政負担額の試算及び公債費の推移について

##### 【委員長】

- ・(4)財政負担額の試算及び公債費の推移について、事務局から説明を願う。

##### 【事務局】

- ・庁舎建設費に係る財政負担額の試算について、30年償還で説明する。
- ・庁舎の建設に係る費用の総事業費について35億円から55億円の幅で試算した。
- ・地方債対象事業については対象外事業費、基本設計や引越し等の費用、備品の購入費等の概算を3億円とした場合について差引して地方債対象事業費を算出している。
- ・充当率や交付税措置について勘案した後の実質負担額が、据置期間後の年償還額が毎年の負担額となり、約1億2千万円から2億円までとなっている。
- ・総事業費が35億円を下回る場合や55億円を超える場合は応じて毎年の負担額が増減する。
- ・公債費の推移(過去10年間、H21年度～令和元年)について、元利償還金がH21年度には52.6億円だったものが令和元年には36.6億円まで減少し、年度末残高についても435.5億円だったものが、351.8億円まで減少し、どちらも10年間で減少している。

##### 【委員長】

- ・総事業費については、建物、現庁舎の解体費、引越費用等全部含めたものか。

##### 【事務局】

- ・基本設計、実施設計、本体工事費、引越費用、什器、IT機器の移設費も勘案し、現庁舎の解体費、駐車場等の外構に掛かる経費も含めて総事業費としている。

##### 【委員長】

- ・総事業費はまだ数字が見えていない。北広島市の庁舎は総額60億円であるが、そこまではいかないとしても多額の経費が掛かる。これからの整備計画等が出てくると思うが、数字的な負担額を頭に入れた上で進めていきたい。ご意見等あればお受けする。

##### 【委員】

- ・今のは本庁舎だけの話か。総合福祉センター、デアイ、車両センター等あるが、これは庁舎の建設には関係ないのか。

##### 【事務局】

- ・総合福祉センター、デアイ、車両センターについては、各所管と協議をしているところで、次回以降に案を示すので検討いただきたい。

##### 【委員】

- ・先ほど私は現在地での建替えと意見を出したが、総合福祉センター、デアイ、車両センターについては、すぐに新しくせずとも間に合うのではないか。そうすれば庁舎の経費を安くできると考えてみたがいかがか。

##### 【事務局】

- ・貴重なご意見と受け止め検討させていただく。

##### 【委員長】

- ・庁舎だけではなく複合施設というものも考えられる。北広島市もそうだが、色々な形で市民が立寄って、休憩する場所やお茶を飲む場所、子供たちが遊べる場所などもあり、その中で複合的な設備を加味した造り方もある。皆さんからの意見がある程度設計に反映していれば良い。



**【委員】**

- ・ 現行のデアイ、車両センターについて一つのパッケージとして話をした方が市民側は理解できるのではないか。一番の関心事は予算で、庁舎にお金をかけると住民サービスが疎かになるのではないか、福祉はどうなるのだろうか」と市民は考えてしまう。

**【事務局】**

- ・ 庁舎周辺施設の関係は本日の段階でお示しできないが、次回以降の会議でお示しする。

**【委員】**

- ・ 次回協議することになると思うが、今回3つの候補地について現況の写真で示しているが、それらの敷地を使うとした場合に、庁舎を建てるスペース、駐車場、周辺施設との連携のイメージを示していただけるのか。生協跡地、生きがい文化センターを選択した場合にはデアイは離れるため、残して使用することになるのか一体的に新しく建てるのか、分かりやすく示していただくと検討しやすい。

**【委員長】**

- ・ 各候補地において建物の面積、駐車場の台数などをある程度示した中で検討していきたい。

**【事務局】**

- ・ ご意見のとおり、配置計画、駐車場等の計画をどこまで詳細に出せるかは分からないが、分かりやすい資料としてお示ししたい。

**(5) 次回の検討会議について**

**【委員長】**

- ・ 次回の検討会議について、事務局から説明を願う。

**【事務局】**

- ・ 次回4回目は9月17日（火）18：00から市役所大会議室で行う。後ほど案内するので出席方よろしくお願ひしたい。

**(6) その他**

**【委員長】**

- ・ 以上で第3回検討会議を終了する。夜遅くまで長時間にわたり出席いただき感謝する。

**【以上】**